

## 第54回 山口県高等学校総合体育大会 バasketボール競技

H15年(2003年)5月31日(土)・6月1日(日)・7日(土) 防府スポーツセンター・俵田翁記念体育館 他

<b>女子準決勝</b>		22 - 9			
	<b>誠 英</b>	111	28 - 11	57	<b>宇部商</b>
			34 - 11		
			27 - 26		

誠 英 #4植田 #5濱本 #6兼国 #7内田 #9高崎  
宇部商 #4小森 #5稲葉 #6大島 #8中村 #17内

誠英、オールコートマンツ、宇部商3-2ゾーンでスタート。宇部商が#4の2Pで先制。誠英は宇部商のゾーンに戸惑いミスを連発。しかし、宇部商は得意の速攻にもっていくがシュートが入らない。そのうち、誠英は、#4のハイポストを起点にしてゾーンを攻略し、得点を重ねていく。誠英は、Defもはげしくなり、宇部商は点をとれない。前半を50-20で折り返す。後半も前半同様、誠英の堅いDefの前に宇部商は攻めあぐむ。対する誠英は速攻で得点を重ねていく。結局111-57で終了。誠英の堅いDefが目立った試合だった。(主審：奥野忠 副審：内田昭紀)

<b>女子準決勝</b>		11 - 16			
	<b>岩 国</b>	37	12 - 13	58	<b>徳山商</b>
			3 - 20		
			11 - 9		

岩 国 #4宮本 #5紅床 #6林 #9鳩野 #14斉藤  
徳山商業 #4池森 #5土井 #7秋本 #8角田 #9小森

両チームともマンツーマンDefでスタート。徳商は#5の1 on 1を中心に得点を重ねる。対する岩国は#9#14で対抗する。第1Q16-11の徳商リードで終了。第2Qも互角の展開が続き、思うように得点が伸びない。29-23の6点差で前半終了。

後半始まってすぐに徳商#9の3P、#7のミドルシュートで34-23と点差を広げる。岩国は4分間ノーゴール。たまたずタイムアウト。徳商はさらにDefを頑張り、速攻、3P、#4の1 on 1と確実に得点を重ねてゆく。第3Q49-26で終了。第4Q、徳商は開始4分間ノーゴール。一方岩国はDefからチャンスを作るがシュートが決まらない。残り5分#6のステップインシュートで49-34と追い上げる。残り2分、岩国はオールコートからのDefでプレッシャーをかけるがチャンスを作ることができない。58-34で試合終了。岩国は第3Qのわづかに3得点が悔やまれる。(主審：高木直樹 副審：勝原芳徳)

<b>女子決勝</b>		21 - 7			
	<b>誠 英 ○</b>	67	16 - 8	36	<b>徳山商</b>
			10 - 8		
			20 - 13		

誠 英 #4植田 #5濱本 #6兼国 #7内田 #9高崎  
徳山商業 #4池森 #5土井 #7秋本 #8角田 #9小森

両者マンツーマンでスタート。ファーストシュート誠英#4植田でゲームが始まる。徳山商が堅さからイージーシュートを外し、誠英に立て続けにとられ、9-0。たまたず開始3分で徳山商タイムアウト。徳山商#8角田の初ゴールが決まり、リズムに乗っていきたいが乗れず1クォーター21-7で終了。2Q、徳山商がカットインからファールをもらい、フリースローを得るが入らず苦しい展開。誠英はスティールから点を重ねていく。前半37-15で折り返す。

後半、両者マンツーマンで入るが、開始早々誠英#5がファール4つになり#17を投入。ディフェンスを1-1-2-1のゾンプレスに変える。誠英は#4植田を中心に得点を重ね、残り2分で徳山商タイムアウト。タイムアウト後#6、#4の連続3Pが決まり3Q47-23で終了。4Q徳山商#6の3Pで追いつこうとするが縮まらず、残り4分誠英オールメンバーチェンジ。そのまま逃げ切り67-36で試合終了。6年連続インターハイの切符を手にした。(主審：叶太 副審：春山良二)

## 第54回 山口県高等学校総合体育大会 バasketボール競技

H15年(2003年)5月31日(土)・6月1日(日)・7日(土) 防府スポーツセンター・俵田翁記念体育館 他

### 男子準決勝

	豊 浦	66	9 - 8 19 - 13 14 - 12 24 - 15	48	岩国工
--	-----	----	--	----	-----

豊 浦 #4古川 #5魚谷 #12藤村 #13高山 #14野口  
岩国工業 #5山田 #9宮本 #11大城戸 #14田村 #17柿本

Defは豊浦はマンツーマン、岩国工が3 - 2ゾーンでゲームスタート。豊浦は岩国工の3 - 2ゾーンを攻めきれず、得意の速い展開に持ち込めない。一方岩国工は、セットオフenseから#9、#14のインサイドにボールを集め、得点を重ねる。第2Q豊浦は相手のパスミスから#4の速攻で一時は10点差をつけるが、ペースをつかむまでには至らず、前半を28-21、豊浦7点リードで終える。

後半に入り、岩国工はDefの足が徐々に止まり始める。それに伴い、豊浦は#5のドライブ等でペースをつかみ、点差を広げていく。第4Q、岩国工は2 - 2 - 1のゾーンプレスでプレッシャーをかけるが、点差を縮めることができず、結局66-48で豊浦が勝利した。 (主審：渡辺博史 副審：有澤重行)

### 男子準決勝

	山 口 〇	76	15 - 17 18 - 20 25 - 13 18 - 19	69	宇部工
--	-------	----	--	----	-----

山 口 #4隅廣 #5大堀 #6本間 #7清水 #15細坂  
宇部工業 #4高東 #5明末 #6入江 #7川本 #10京免

両者マンツーマンディフェンスでスタート。山口#5大堀のドライブで先制。宇部工すかさず#5明末のミドルシュートで入れ返す。立ち上がり山口はオフenseのリズムがつかめず、#5大堀一人で踏ん張っていく。一方、宇部工は速いパス回しの中、自分たちのバスケットを展開。1Q 15 - 17 宇部工2点リード。2Q、先に山口が動く。ディフェンスを2 - 1 - 2ゾーンに変化し、揺さぶりをかけるが、宇部工はこれを落ち着いて攻め得点は縮まらない。10点差に開いたところで山口タイムアウト。その後、山口#5の3Pのところ宇部工#5がファール。バスケットカウントワンスロー。宇部工#5明末は2つ目のファールでベンチへ。ここから宇部工のリズムが崩れ、その隙に山口はじわりじわり差を縮め、前半 33 - 37 宇部工4点リードで後半へ。

3Q、宇部工#5明末がミドルシュートで流れを取り戻すかに見えたが、その後宇部工2連続ターンオーバー。山口これを確実に決め、2点差につめる。宇部工も苦しみながら得点を重ねるものの単発。山口は3Pが面白いように決まり、48 - 47 1点に追い詰め、さらにここまで沈黙していた山口#7清水の3Pでついに逆転。さらに#5大堀も3Pを沈め、その差5点と開く。ここで宇部工タイムアウトをとるが、山口の勢いは止まらず、8点山口リードで4Qを迎える。4Qに入っても山口はミドルシュートが落ちず、開きかけるが宇部工#7川本の3Pなどで何とか踏みとどまる。その後一進一退が続く中、残り3 : 4 3山口14点リードで宇部工2度目のタイムアウト。ここから宇部工も最後の意地を見せ#7川本などの3Pで6点差まで追い上げるが届かず、76 - 69でタイムアップ。山口が決勝進出を決めた。 (主審：小池正夫 副審：松本理)

### 男子決勝

	豊 浦	78	17 - 13 23 - 29 19 - 28 19 - 21	91	山 口
--	-----	----	--	----	-----

豊 浦 #4古川 #5魚谷 #12藤村 #13高山 #14野口  
山 口 #4隅廣 #5大堀 #6本間 #7清水 #15細坂

豊浦はオールコートマンツーマン、山口はハーフマンツーマンDef。豊浦は#5の1 on 1、山口は大会足の痛みで不調の#7の3Pで口火を切った。山口はディレイドぎみにセットオフenseから1 on 1を仕掛ける。豊浦はやや集中力に欠けるが、#13に代え#15を投入、突破口を作ろうとするが、なかなかリズムに乗れない。山口はよく攻めるがイージーシュートを落とし、第1Qは17-13と豊浦リードで終わる。第2Q山口は3 - 2のゾーンをしくが豊浦は#9を入れ、リバウンドシュートなどを入れ、6分で32-23と点差がつく。山口マンツーマンに変え、#4#5の3Pが決まり、8分には32-33と逆転。豊浦は1 on 1が守れずリードを許すが、#14のブザービーターの3Pシュートで40-42と何とか持ちこたえて前半を終える。

3Qの立ち上がり、豊浦はやはり集中力に欠け、2分で40-50と10点あげられてしまう。豊浦はDefに粘りが無く、1 on 1 から合わされ、山口#7に3連続3Pを決められる。豊浦は#5の1 on 1 で反撃するも肝心なところで守れず、59-70でこのQを終える。4Qに入って豊浦は#9のインサイドを中心に攻め、#5の3Pもよく決まり、4分で68-72と追い詰める。山口もタイムアウトを取り、#5や#4の3Pで突き放しにかかる。豊浦も#5、#14の3Pで食いすぎり8分には76-82。山口は#18が5ファールで退場するも、大事なところで#7が3Pやドライブをよく決め、78-91で6年ぶりのインターハイ出場を決めた。豊浦は、前大会でみせたDefでの頑張りも無く、やや精彩に欠ける印象であった。 (主審：松本隆志 副審：川武修)